

令和3年度 第1回浜松市男女共同参画審議会 会議録

- 1 開催日時 令和3年7月30日(金) 午後2時30分から午後4時00分まで
- 2 開催場所 浜松市役所 北館1階 101・102会議室
- 3 出席状況
(1) 出席 犬塚協太委員、今泉るり子委員、葛島昌己委員、
新村早織委員、田中卓也委員、中田明子委員、名波弘充委員、
峰野由美子委員、和田清子委員 ※50音順
(2) 事務局 奥家章夫市民部長、新谷直幸UD・男女共同参画課長、
河合多恵子UD・男女共同参画課長補佐
森田毅彦共同参画グループ長、小楠浩規主任、飯島奏子
- 4 傍聴者 3名
- 5 議事内容 令和3年度事業計画について【資料1】
- 6 会議録作成者 河野勝子
- 7 記録の方法 発言者の要点記録（録音の有無：有）
- 8 配付資料 (1)次第
(2)令和3年度事業計画（共同参画グループ関係）【資料1】
(3)第3次浜松市男女共同参画基本計画一部見直し（素案）【資料1・別紙】
(4)男女共同参画社会の意義と計画推進のポイント【講義資料】
- 9 会議記録 次頁以降のとおり

1 開会

事務局

第1回浜松市男女共同参画審議会を開催する。

2 委員委嘱

奥家市民部長から、新委員への委嘱書交付を行う。

<委嘱書の交付>

3 市民部長あいさつ

奥家市民部長あいさつ

4 委員自己紹介

<委員の自己紹介>をお願いする。

5 職員紹介

<UD・男女共同参画課職員自己紹介>

6 会長選任、職務代理（副会長）指名

犬塚会長選任

中田職務代理（副会長）指名

7 会長・副会長あいさつ

8 議題

- ・令和3年度事業計画について

事務局

令和3年度事業計画（共同参画グループ関係）の説明

犬塚会長

事務局から説明があった「令和3年度事業計画」について、何かご意見、ご質問等はあるか。

田中委員

すごく面白い企画が多いと感じた。こらぼ講座の「こらぼ」を平仮名表記にしているのはなぜか。

事務局

「こらぼ」はコラボレーションの略である。平仮名表記にしている理由については、詳細は不明であるが、親しみやすさを出すためだと思われる。

中田副会長

資料1の(2)UD・男女共同参画提案事業の女性リーダー紹介の事業について、企画の段階で構わないので、目的や内容を教えていただきたい。

事務局

本事業の提案団体については、昨年度までシンポジウムなどのイベント開催の事業

を提案してきていた。しかし、コロナ禍の状況においてシンポジウム等の開催が難しくなったことから、本年度は女性リーダーのインタビュー等を冊子にまとめて紹介する事業を行いたいとのことで提案書が提出され、採択した。

中田副会長

完成は冊子だけなのか、WEBページ等の紹介はあるのか。

事務局

冊子だけでなく、データでの納品も予定しており、活用を検討していく。

犬塚会長

こらば講座を含め、様々な講座やセミナー等の事業企画があると思うが、コロナ禍の状況の中、会場での対面式で行うのは難しいと思われる。浜松市に限らず全国的なことであるが、昨年度、多くの講座等が中止や延期になってしまった。その中でも実施の方向に向けて、オンライン形式での開催、例えば、ZOOMを使った同時配信や、動画のユーチューブ配信により多くの人に視聴していただくなど、様々な手法で実施された。そのようなスキルの蓄積がこの一年で大変進んできた。大学の感染拡大状況によって、授業をオンラインで開催している。しかし、学生の意見を聞くと、反応が二分化しており、オンラインを望む学生と対面式の授業を望む学生で半々に別れている。精神的な問題を抱えているなどの理由で授業に参加できなかった学生にとっては、オンラインによって参加できるようになったというメリットがある。また、学生に限らず、全国規模のイベント等において、地理的、交通的な問題で参加できないという地域的な偏りの問題にも対応できるようになった。一方、対面式では講師に直接質疑をすることができたり、講義後に参加者同士の交流が出来たりなどのメリットがある。対策としては、両方を合わせたハイブリット方式、つまり、対面式で参加人数を制限しつつ、オンライン参加も可能とする方法が、現実的に良いのではないかと思う。そのような方法を模索していく必要がある。

事務局

昨年、活動拠点施設事業（あいホール事業）において、いち早くオンライン形式を取り入れ、講座等を開催することができた。最初は技術的に難しさがあったが、繰り返すことでスキルも徐々に上がっていったと感じる。それにより、託児があっても参加が難しかった子育て世代の参加者も増えた。また、本年3月に開催したあいホールフォーラムにおいて、タレントのシェリーさんを招待してトークセッションをオンラインで行ったところ、どのようにして実施したのかとの問合せが市外からあった。一方で、横浜市から講師を招待して女性の護身術の講座を開催する企画をしていたが、オンラインで護身術は難しく、延期とした。今後も対面形式とオンライン形式をうまく取り入れて開催する方法を考えていきたい。

中田副会長

対面形式で行う講座とオンラインで行う講座では設計の仕方が違ってくる。対面ではよいが、オンラインでは受講しにくいということもあるので、上手に設計していただきたい。また、せっかくオンラインで実施するのであれば、日程の都合が悪く参加できなかった方のためにも、後から録画配信で視聴できるような体制を整えていただけるとありがたい。

犬塚会長

本日の議事を終了する。

9 男女共同参画に関する基礎講義

「男女共同参画社会の意義と計画推進のポイント」

静岡県立大学 国際関係学部 教授 犬塚協太 氏

10 閉会

事務局

以上をもって、令和3年度第1回男女共同参画審議会を閉会する。